

音楽科

1 学習の目的

音楽科の目標は1年次45時間、2,3年次35時間という限られた授業時間の中で「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成する」ことにあります。

2 学習内容

裏面参照 ※計画や内容の変更の可能性があります。

3 評価の方法

評価の観点		着目している点
項目	達成目標	
知識・技能	<p>曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。等</p> <p>創意工夫を活かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表現している。等</p>	定期テスト、実技テスト、授業内の達成状況
思考・判断・表現	<p>音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す性質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。等</p>	提出物の記入内容
主体的に取り組む態度	<p>曲想と音楽の構造や内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱、鑑賞、創作の学習活動に取り組もうとしている。等</p>	授業態度、挙手・発言、提出物の状況

4 授業の約束

観点	求めている姿	
知識・技能	定期テスト 実技テスト等	学習した知識を活かすことができる。 音楽表現に必要な技能を身に付けている。
思考・表現・判断	提出物の内容 等	音楽を聴き、良さや特徴を感じ取り、記述することができる。
主体的に学習に取り組む態度	授業態度の様子 等	授業に向かう心構えができており、チャイム着席が守れる。忘れ物や私語が無く、授業の用意もきちんとできている。先生の話を目と心で聴く意識がある。提出物をきちんと出している。

技能評価 A 音程が正しく、響きを持った音色、フレーズ感や曲想をとらえ演奏している。
 B 基本的な演奏の仕方は身につけていて音は聞こえてくる。
 C 音が聞こえない。